

入れ歯のメリット

入れ歯事情

メッセージ

診療時間・アクセス

お問い合わせ

入れ歯TOPICS

- ▶ 京都観光と入れ歯作り
- ▶ 入れ歯に関する患者様とのやり取り
- ▶ 義歯安定剤(入れ歯安定剤)使用に注意
- ▶ 入れ歯を遠い医院で作っても大丈夫か？

入れ歯名人への道

- ▶ より良い人生のための入れ歯
- ▶ 入れ歯名人の父
- ▶ 受け継がれた入れ歯名人術
- ▶ 入れ歯を極める事で得た事

入れ歯情報

- ▶ 快適に噛める入れ歯を作るには
- ▶ 家族の方・遠方の方へ
- ▶ 入れ歯の現状
- ▶ 本当の入れ歯と保険の入れ歯

健康と入れ歯

- ▶ 選択肢はインプラントだけ？
- ▶ 合わない入れ歯をしていると
- ▶ 噛む事と健康の関係

入れ歯相談窓口

歯科医師略歴

診療所案内・地図

サイトマップ

ONLINE
お問い合わせ

▶ 選択肢はインプラントだけ？

インプラント治療とは？

歯を失ってしまった場合の治療法は、従来より入れ歯が主流でした。しかし、近年ではインプラント治療の技術が発達し、人々の間にも少しずつ浸透してきています。「インプラント治療」とは、歯を失ってしまった部分の顎の骨に人工歯根(インプラント)を埋め込んで、その上から人工歯を被せる治療法です。実際に歯を失ったときに「入れ歯」と「インプラント」のどちらを選ぶかは患者様の自由。どちらを選べば生活をより快適にすることができるのか、しっかり考慮した上で選択することをお勧めします。



▶ 超高齢社会における選択肢

日本は「高齢化社会」を通り抜け、世界有数の「超高齢社会」に突入しています。年齢を重ねれば歯の健康を維持し続けることは困難になり、今80歳以上の方のほとんどは7~8本しか自分の歯が残っていないのが現状です。今は健康な歯を持っていても、いずれ歯を失ってしまう方は増えていくでしょう。多くの歯を失ってしまった場合(即ち「噛めない」場合)、患者様には以下のような「究極の選択」しか残されていません。

- 一、歯がぬけたまま(噛めないまま)一生を終える
- 二、インプラントにする
- 三、入れ歯にする

つまり、食事や会話を楽しみながら快適に暮らしていくためには「インプラント」が「入れ歯」しか選択肢がないのです。どちらが患者様にとって最適なのかは一概には言えません。最新の治療法であるインプラントを選択する方も多いとは思いますが、まずは正確な情報を得て、メリット・デメリットを知っておくべきでしょう。

▶ インプラントの必須項目

インプラント治療を受けるためには、下記に挙げる5つの条件すべてを満たし、かつ納得しなければなりません。

- 1.高額な治療費を払えること
- 2.健康な体を持っていること(有病者は不可)
- 3.数十年維持できるとは限らないこと
- 4.必ず手術を伴うこと
- 5.心理的恐怖心に耐えられること

上記に挙げたインプラントの条件をすべて満たす人は少ないと思われます。また、全国でインプラントの専門家が絶対的に不足しているのも事実です。



[入れ歯TOPICS【京都観光と入れ歯作り | 入れ歯に関する患者様とのやり取り | 義歯安定剤\(入れ歯安定剤\)使用に注意 | 入れ歯を遠い医院で作っても大丈夫か?】](#)
[入れ歯名人への道【より良い人生のための入れ歯 | 入れ歯名人の父 | 受け継がれた入れ歯名人術 | 入れ歯を極める中で得た事】](#)
[入れ歯情報【快適に噛める入れ歯を作るには | 家族の方・遠方の方へ | 入れ歯の現状 | 本当の入れ歯と保険の入れ歯】](#)
[健康と入れ歯【選択肢はインプラントだけ? | 合わない入れ歯をしていると | 噛む事と健康の関係】](#)
[入れ歯相談窓口 | 歯科医師略歴 | サイトマップ | HOME](#)

Copyright © 入れ歯・専門情報【入れ歯名人】噛める入れ歯. All Rights Reserved.